



## 令和4年度 茨城県優良図書紹介【高校生・勤労青少年向け】

### ペイント

イ・ヒヨン  
小山内園子 訳



### 『ペイント』

イ・ヒヨン 著、小山内園子 訳（イースト・プレス）

子どもが親に望むことは。もし親を決める選択権が全面的に子どもにあったら。大人になるまでの期限が迫る中、親候補の面接=ペイントに臨むジェヌの出した答えは…？自分とは何者か、自分を構成するものは何か、と考えたくなるティーンに刺さります。



### 『ラスト・フレンズ』

ヤスミン・ラーマン 著、代田亜香子 訳（静山社）

協力して自殺するためにマッチングサイトを通じて集まった3人の高校生。死ぬまでの13日間に生まれた友情は、彼女たちの決断を変えるのか。衝撃の展開が待ち受ける。



### 『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂康之、林公代 著（イースト・プレス）

「宇宙食、つくれるんちゃう？」生徒の一言から始まった宇宙食開発プロジェクト。高校生が作ったさば缶が国際宇宙ステーションに打ち上げられるまでの12年間を綴ったノンフィクションです。壮大で突拍子もない夢に見えても、諦めずにバトンを繋いでいけばきっと実現できることを教えてくれます。



『落花流水』 鈴木るりか 著 (小学館)

憧れの“おにいちゃん”がパンツ泥棒で捕まった。現役高校生が紡ぐ、初恋の相手を巡る事件と片想いを続ける青春の日常。眠くて勉強したくない、友達、推しのためなら、頑張れる。そんな受験生の感情がリアルに描かれています。



『階段ランナー』 吉野万理子 著 (徳間書店)

今までに1回も怒ったことがない、家族のトラブルを抱えた奥貫広夢と、イップスにより生活の全てだった卓球ができなくなった三上瑠衣は、階段研究家の高桑曜太郎先生の影響で、階段に魅了されていく。全力で人生の階段を駆け上がっていく二人の姿が眩しい青春小説。



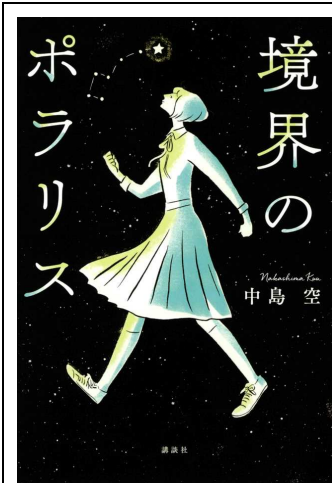
『きみとホームで待ち合わせ』 神戸遙真 著 (講談社)

高校生活に夢や希望を抱いて入学しても、その通りにならないこともあるし、思いがけない素敵なことが待っていることもある。高校生の日常が丁寧に描かれている、オムニバス形式の恋愛小説。



『海をわたった母子手帳』 中村安秀 著 (旬報社)

世界初の母子手帳は日本から始まった。世界各国の母子手帳の活用状況や、日本での先進的な活用事例などを知ること、未来を担う子供たちを、地域やコミュニティでどのように育てるか考えさせられる良書。茨城県常陸大宮市の取り組みが先進的な事例として取り上げられているところも見どころのひとつ。



『境界のポラリス』 中島空 著（講談社）

中国人の恵子は、本当は中国人だということを気づかれないように生活していたが、夜間中学で外国人の子供たちに日本を教えるボランティア活動を通して、自分を見つめ直します。様々な境遇のもとで、自分らしく生きていこうとする姿に共感する感動的な物語です。